

いずもの話題

izumo no wadai

子育て・若者への支援をきける講演会開催

出雲市子ども・若者支援協議会主催により、不登校やひきこもりなどの困難を抱える子ども・若者への支援を考える講演会が、3月5日、ビッグハート出雲で開催されました。

また、講演後には、県内の支援の取組発表があり、県立宍道高校やしまね若者サポートステーション、思春期・青年期の居場所「くらりねっこ」の3機関がそれぞれの活動を報告しました。

家庭関係やDV(ドメスティック・バイオレンス)、子どもへの虐待・不登校など、さまざまな相談・支援を行っている、原宿カウンセリングセンターの信田さよ子所長が講師を務め、これまでのカウンセリングの中から感じた支援について話されました。

信田さんは、困難を抱える子どもの問題の原因を探すのにもエネルギーがか



子どもが抱える問題解決には、家族の支援・役割が大切であると話す、信田さよ子所長。

浜山湧水活用施設竣工式

平成20年に環境省の「平成の名水100選」に選ばれた浜山湧水群を活用し、環境保全及び観光振興を図ることを目的に整備してきた浜山湧水活用施設が、3月1日、出雲文化伝承館駐車場にオープンしました。

協会長は「地元の活性化につながるよう、多くの方に利用していただきたい」と期待を寄せていました。なお、施設は無料で、毎日午前9時から午後9時まで利用できます。

竣工式に出席した長岡市長はこの水は、地元の方々が長年にわたり守り受け継いできたもの。多くの皆さんに利用していただき、環境保全の意識が広がってほしい」と述べました。また、寺本高松自治



砂子田簡易水道組合の中島組合長(写真右)ら関係者と浜山保育園児とで、初めて水を流しました。

トキの繁殖センターの本格的にスタート

1月22日から、出雲市トキ分散飼育センターで、佐渡トキ保護センターから移送された国際保護鳥トキ(2組4羽)を飼育しています。

繁殖実績のあるペアは、2月1日に雄雌ともに繁殖色(頭から後背部が灰色になる)に変化し、新規のペアも、雄は2月26日に、雌は3月5日につつすらと繁殖色に変わりました。

3月6日には本格的に巣材を投入し、順調にいけば今月末から4月初め



繁殖色に変化した繁殖実績のあるペア(2月16日撮影)

にかけ産卵、4月末のふ化が期待されます。

3月8日には「第2回出雲市トキによるまちづくり推進協議会」が開催され、トキの分散飼育をきっかけとして、トキをシンボルとした人と自然が共生できるまちづくりを進めていくために、今年夏頃にはまちづくり構想を作成することを確認しました。

4月23日(土)には、「しまね花の郷」北側に「トキ学習コーナー」がオープンします。同コーナーでは、分散飼育セ

ンターで飼育しているトキの様子を映像で見ることが出来ます。また、はく製、骨格・卵の標本を展示するほか、トキの仲間(近似種)の観察をすることが出来ます。



「トキ学習コーナー」パース図

出雲弥生の森
博物館

市民講座の受講者募集!

● 出雲弥生の森博物館 開館1周年記念講演会

とき 4月29日(金・祝) 午後2時～午後4時
演題 「四隅突出型墳丘墓について(仮称)」
講師 野島 永氏(広島大学文学研究科 准教授)

● 企画展講座①

とき 5月1日(日) 午後2時～午後4時30分
演題 「古代の矢野遺跡について」
講師 高橋 周(出雲市文化財課)

● 企画展講座②

とき 5月8日(日) 午後2時～午後4時
演題 「弥生時代の日本海交流について(仮称)」
講師 森本幹彦氏(福岡市教育委員会)

共通事項

会場 出雲弥生の森博物館
受講料 300円 定員 80名

出雲弥生の森博物館に電話で申し込んでください

申し込み・おたすね/出雲弥生の森博物館
TEL.25-1841

博物館開館1周年記念イベント開催!

【期間】
4月29日(祝)～5月8日(日)

【内容】
開館1周年記念講演会、企画展講座、ものづくり体験教室(勾玉・古代鏡・缶バッジ)、近隣歴史博物館協力ブース、弥生茶屋、地元主催イベントなど
※詳細は次号の広報いずもでお知らせします。

【問合せ】 出雲弥生の森博物館 電話 25-1841

2011春の古代出雲王国まつり開催!

【日時・会場】
5月1日(日) 午前10時～午後4時
荒神谷史跡公園

【内容】
いにしえ体験、古代食コーナーなど<有料>

【問合せ】 斐川町教育委員会
生涯学習課 電話 73-9180